

畜産茨城

第483号

令和2年3月27日

発行所／茨城県水戸市梅香1丁目2番56号
公益社団法人 茨城県畜産協会
電話 029 (231) 7501
URL <http://ibaraki.lin.gr.jp>
発行人／佐 野 治

目次

第3回オムライス 子ども料理教室開催される……………1	令和2年1月市況……………6
新しいランドレース種の 系統造成が始まりました……………2	肉用子牛生産者補給金発動状況……………6
畜産経営体に対する経営診断と 育成指導活動について……………3	令和2年2月市況……………7
第47回 茨城県常陸牛枝肉共励会開催!! ……4	牛マルキン発動状況……………7
	第19回茨城県堆肥コンクール表彰式 及び土づくりセミナー開催される ……8

第3回オムライス 子ども料理教室開催される



茨城県養鶏協会青年部は、未来を担う子どもたちの食育の一環として親子で参加できる「オムライス 子ども料理教室」を開催しております。今年は、3年目として、バレンタインデーをテーマにハート型オムライスを作り、子どもたちに卵を身近な存在として、楽しんでもらいたい思いで、令和2年2月11日に小学生低学年を対象にポケットファームどきどき茨城町店で開催しました。

教室には、茨城町、小美玉市、笠間市の親子24組48名が参加しました。

講師に野菜ソムリエの山崎真理子さんを迎え、「ハート型オムライス」の簡単で美味しい作り方を披露していただいたあと、テーブルをまわって親子のオムライスづくりをサポートしていただきました。

子どもたちは、ハート形の玉子焼きをつくりご飯の上に乗せ、さらにケチャップでハート形を描き完成させました。試食会では、子どもたちが自分で作ったかわいい「ハート型オムライス」に大喜び！どこから食べようかな？と考えながら美味しそうに食べていました。

茨城県養鶏協会

地方競馬の収益金は畜産の振興に役立てられています

新しいランドレース種の系統造成が始まりました

茨城県畜産センター養豚研究所 育種研究室

養豚農家において肉豚を生産する際は、三元交雑豚を肉豚として肥育するため、雄系、雌系それぞれの品種について育種改良が必要です。当所ではこれまでにランドレース種3系統、大ヨークシャー種2系統、およびデュロック種1系統を造成し、本県の銘柄豚肉である「常陸の輝き」や「ローズポーク」など、高品質豚肉生産の基礎豚として県内で広く活用され高く評価されています。ランドレース種は、現在活躍している系統豚「ローズL-3」が造成後10年近く経過しているため、その後継豚として経営改善に効果の高い生産性に優れた、新たな系統豚の造成に着手しました。

基礎豚

平成30年度に「ローズL-3」に国内種豚場や、海外の種豚場から導入した精液を交配し、場内で育成・選抜しました。さらに令和元年度に、県内外から導入した優良な種豚と合わせて、雌47頭、雄10頭を基礎豚としました。

系統造成の流れ

令和元年10月、11月に基礎豚同士で集中的に交配し、2月から第一世代候補豚が生まれています。今後、体重約30kgに達した時点で、発育や肢蹄の形が良い個体を、1腹から雌2頭、雄1頭を選抜します（1次選抜）。選抜した候補豚は、雌は2頭ずつ、雄は1頭ごとに飼育して育成し、105kgに達した時点で体の各部の測定を行います（検定）。測定結果をもとに、10月までに第一世代豚として、雌40頭、雄10頭を選抜します（2次選抜）。このように生産した豚は、1年一世代で検定、選抜、交配を繰り返す（図1）、五世代をかけて、系統造成を行います。

今回は、雌系のランドレース種であるため、系統造成にあたっては「生存産子数」、「三週齢総体重」および「一日平均増体重」の3項目を育種改良目標にします。

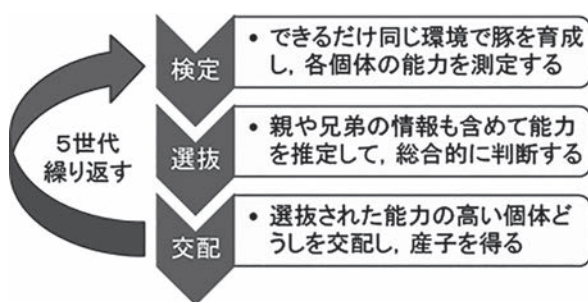


図1 系統造成の概要

新しいランドレース種系統豚「ローズL-4(仮称)」は令和6年度に造成完了予定です。生産性に優れた優秀な系統豚を造成できるよう努めてまいります。



基礎豚導入の様子



系統造成第一世代を生産

※系統豚とは

系統豚とは、はじめに基礎豚や精液を導入した後は外部から導入しない閉鎖群の中で数世代にわたり改良を行った豚の集団です。系統豚は、群内の全ての個体に血縁関係を有し、改良によって得られた高い能力の豚を安定的に生産することが可能となります。

畜産経営体に対する経営診断と育成指導活動について

茨城県農業総合センター 専門技術指導員 津田 和之

はじめに

本県では「儲かる農業」を目指して、10年後に全国トップレベルの農業所得を実現する経営体育成のために、関係機関が全力をあげて、「経営体育成指導活動」に取り組んでいます。

去る12月26日に畜産分野の各畜種ごとの専門家を対象として、畜産経営体に対する、経営改善手法の習得による経営指導力の向上、経営・生産技術の高度化に対応できる指導能力強化、経営感覚を養うことができる指導員の育成を目的として、地域畜産総合支援体制整備事業に係る「畜産経営体指導研究会」と普及指導員を対象とした「専門能力強化研修」を同時に開催しました。

1 経営診断でのポイントについて

畜産協会職員より、畜産経営体に対する経営診断に必要な事項や情報の内容とコンサルタントによる改善指導の概要を示して、次に各畜種ごとの経営改善のポイントを説明しました。

肉用牛の肥育経営では、肥育素牛となる子牛の価格や枝肉相場の影響により経営が左右されます。

また、最近肥育と繁殖を組み合わせた一貫経営が始まっており、経営診断の際に繁殖部門と肥育部門での飼料費の分離や育成牛から肥育牛への仕向け価格の設定が課題となっています。

肉用牛の繁殖経営では、繁殖成績により経営が左右されるため、農場管理システムにより繁殖状況を明確にし、関係機関が役割分担して繁殖成績の改善指導を行うことが経営改善のポイントです。

酪農経営では乳価や生産コストを明らかにして、問題点に係る経済的損失を具体的数字で酪農家に示して、経営体ごとの現状に合わせた目標を設定し、経営改善指導を図ることがポイントです。

養豚経営では母豚からみた肉豚出荷頭数や出荷体重が適正であることが重要であり、さらに分娩回転率が年に2回程度とすることが求められます。

また、上記の畜種ごとの畜産経営体に対する経営診断よりも簡易なワンポイント診断指導があります。この診断指導では、畜産経営体への経営管理手法や特定の生産技術の改善、新技術の導入など項目を絞って支援を行います。

2 経営体育成指導のポイントについて

普及センターでは、経営者自らが経営改善に関わり経営発展を目指す「意欲ある経営体」に対して、目標設定やその実現にむけた取り組みを支援しています。

普及指導員は対象の経営体に対して、おおむね3年以内に所得1000万円を目指すための経営改善指導を柱とした巡回指導を中心に経営体育成指導に取り組んでいます。

対象とする経営体は、農業参入等支援センター重点指導農業者やいばらき農業アカデミー受講者、各種事業活用者などです。

普及指導員が1人1経営体を対象として、原則月1回以上農業者と技術や経営改善のカウンセリングを行っています。

経営体育成指導では、普及指導員が経営主との対話を通じて経営改善の課題を明らかにして、改善に向けた取り組みを進めていくことが重要です。



3 今後の支援指導に向けた意見交換と課題について

畜産経営体をめぐる情勢は、経営環境の厳しさや高齢化に伴う労力不足など課題が多い状況です。

これまでの畜産経営体への指導は技術面に偏っていましたが、今後は経営面からの改善指導が必要となっています。

これに応えるためには、普及指導員だけでなく、畜産に精通した経営改善指導の専門家を交えて経営改善指導できる体制が求められ

ております。

現在の重要施策として、常陸牛の素牛となる和牛子牛増頭に力を入れており、肉用牛の一貫経営への経営診断手法の確立も求められています。

また、最近では畜産経営体の規模拡大がすすんでおり、大規模経営体に対応した経営診断手法の確立も課題となっています。

県では今後とも引き続き、畜産経営体に対する経営改善指導に力をいれてまいります。

第47回 茨城県常陸牛枝肉共励会開催!! 令和初健闘するも新型コロナウイルスの逆風の洗礼を受ける

常陸牛振興協会主催の第47回茨城県常陸牛枝肉共励会を東京食肉市場において開催しましたので報告いたします。(3/2(月)～3/4(水)の3日間)出品頭数は80頭(雌9頭・去勢71頭)3月2日(月)に県内各地から中央家畜市場に集結した80頭を順次計量した結果は、雌の平均体重752kg、去勢平均体重853kg、全体平均体重841kgで前年を上回りました。今年も出品者が中心になって、名誉賞と最優秀賞に該当する牛を審査投票しましたが、一様に特定の2頭に絞りきれない、目移りしてしまうとの感想が多く聞かれました。3日(火)には、会合等が厳しい制限の中を、品川大飯店を前夜祭会場に仲卸商、東京食肉市場、生産者、生産者団体31名が出席し、鴨川会長からは日頃の御礼と購買をお願いしました。

招待者の内から東京食肉市場(株)木村専務がいさつし、東京食肉市場で常陸牛の存在感は年々増して来ており、頼もしく思っています。来年は東京食肉市場まつりに主役としてアピールして、更なるブランド力を高めて欲しいとエールを送られました。

水戸市出身俳優でいばらき大使の渡辺裕之様に今年も出席頂き、「ファイト一発」の掛け声で

茨城県常陸牛振興協会 事務局長 谷口 勇

出席者全員が元気を注入してもらいました。次に畜産協会の佐野専務の乾杯の発声で懇親会に入り、渡辺裕之



いばらき大使の渡辺裕之様に常陸牛贈呈

様には色紙のサインや記念撮影に気軽に応じて頂き、場が大いに盛り上がり会話が弾みました。

4日(水)共励会本番では、早朝から審査依頼した足立憲隆委員長ほか5名による審査が行われ入賞牛12点を選んでいただきました。甲乙つけがたい牛の中から名誉賞に茨城町の(株)大和出品の54号「久幸」に決定しました。枝肉重量537kg、ロース面積102cm²、BMS12、歩留70.7%と素晴らしく、新型コロナ流行の影響で需要が厳しい中、(株)スズチクが3,215円で落札

して下さいました。

最優秀賞には日立市の(有)加藤牧場の56号「秋忠60」が選ばれ、



表彰式



枝肉重量が何と757kgでアンデス食品(株)が2,600円で落札していただきました。

新型コロナウイルス流行による、

外食、イベント等の自粛により大幅な需要減退で厳しい中を24社の仲卸商の皆様にご支援を賜り感激に堪えません。

入賞牛12頭の販売単価はkg2,788円、平均売上1,668,473円と前年を大きく下回り単価で▲382円、売上で▲210,156円前年比88%と厳しい結果となりました。

80頭の平均では、枝肉重量564kg、単価

2,280円、売上1,285,051円、BMS9.6と重量やBMSは前回を上回りましたが、単価で▲401円、売上で▲224,720円となりました。前年比85%の成績となり厳しい逆風の洗礼を受けてしまいました。

反省すべき点は、3月の常陸牛枝肉共励会は歌舞伎で言う顔見世興行です。出品者全員が自信を持った牛をお披露目する場であります。東京食肉市場の仲卸や全国の生産者にアピールする絶好の機会となるので、最高のパフォーマンスを発揮出来なかったことが悔やまれます。次回こそ最高の顔見世興行で最高のパフォーマンスが発揮出来るよう、選畜をお願いしたいと思います。

栄えある受賞者は以下のとおりです。(敬称略)

入 賞 者 一 覧

入賞区分	氏名	血統		枝肉重量	格付(BMSNo)	枝肉単価	購 買 者
		父	母の父				
名誉賞	(株)大和	幸紀雄	安福久	537	A 5 (12)	3,215	(株)スズチク
最優秀賞	(有)加藤牧場	秋忠平	安福久	757	A 5 (12)	2,600	アンデス食品(株)
優秀賞1席	(有)瑞穂農場	美津照重	安福久	610	A 5 (12)	2,900	(株)スズチク
優秀賞2席	成島克己	幸紀雄	隆之国	557	A 5 (12)	3,041	(株)ミートナイトウ
優秀賞3席	鈴木政良	芳之国	安福久	550	A 5 (12)	2,986	下山畜産(株)
優良賞	(株)畜産経営研究所	茂晴花	安福久	555	A 5 (11)	2,782	乙川畜産食品(株)
優良賞	(有)中島牧場	勝早桜5	美穂国	618	A 5 (12)	2,690	(株)鎌倉ハム村井商会
優良賞	古沢畜産	華春福	安福久	602	A 5 (12)	2,711	(株)富作商店
優良賞	中村公德	美津照重	百合茂	580	A 5 (12)	2,801	(株)スズチク
優良賞	神永信雄	第1花国	安福久	635	A 5 (12)	2,628	(株)鎌倉ハム村井商会
優良賞	(株)茨畜連PF鉾田牧場	秋忠平	美国桜	638	A 5 (12)	2,503	(株)鎌倉ハム村井商会
優良賞	宇都木孝浩	第1花国	安福久	541	A 5 (12)	2,760	JA全農ミートフーズ(株)

地方競馬場外発売日程

「オフトひたちなか」TEL: 029-265-5800

※発売日程は、変更になることがあります。

2020年4月

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
曜 日	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
オフトひたちなか	船 橋				大 井							川 崎							浦 和							大 井				

○マリーンカップ

○ブリリアントカップ
○東京スプリント

○クラウンカップ

○しらさぎ賞

○東京プリンセス賞
○羽田盃

2020年5月

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
曜 日	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
オフトひたちなか	大 井			船 橋						川 崎						大 井						浦 和									

○かしわ記念
○東京湾カップ

○川崎マイルズ

○大井記念

○さきたま杯

令和2年1月市況

子豚市場

全農茨城県本部 子豚市場

開催日	区分	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)
8	一般子豚	33	20,570	20,020	20,270	50
	ベビー豚	197	20,570	17,380	18,818	35
22	一般子豚	0				
	ベビー豚	192	22,220	19,690	21,064	35

牛市場

全農茨城県本部 家畜市場

開催日	畜種	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)	kg当たり単価(円)
14	和牛	♀	76	831,600	354,200	639,563	286	2,234
		♂	0					
		計	104	1,078,000	316,800	814,402	315	2,582
	F1	♀	180	1,078,000	316,800	740,581	303	2,443
		経産	9	517,000	147,400	408,833	—	—
		計	0					

食肉地方卸売市場

株茨城県中央食肉公社

開催日		豚枝肉：日曜、祭日を除く毎日					牛枝肉：毎週月曜日、木曜日				
項目 畜種	上場頭数		卸売価格（枝肉1kg当たり単価・円）					屠畜頭数			
	頭数	平均重量 (kg)	極上	上	中	並	外	平均	豚	牛	
豚	13,750.0	80.6	472	439	412	377	328	400	27,610	751.5	
牛	頭数	平均重量 (kg)	5	4	3	2	1	平均単価（円）			
和牛	A	148	167	483.2	2,661	2,301	1,930	1,210	—	2,341	
	B	13			—	2,068	1,494	999	—		
	C	6			—	—	—	639	560		
乳牛	A	—	195	320.0	—	—	—	—	—	646	
	B	29			—	—	—	673	693		
	C	166			—	—	1,077	682	597		
交雑牛	A	32	97	512.5	1,945	1,728	1,637	794	—	1,574	
	B	53			1,879	1,696	1,555	1,290	—		
	C	12			—	1,567	1,541	1,125	714		

大子町畜産農業協同組合 大子家畜市場

開催日	畜種	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)	kg当たり単価(円)
16	和牛	♀	39	799,700	178,200	592,335	270	2,192
		♂	0					
		計	31	1,046,100	525,800	760,170	296	2,560
			70	1,046,100	178,200	666,662	281	2,364

茨城県家畜商業協同組合 茨城県中央家畜市場

開催日			5, 9, 15, 19, 25, 29				
畜種	年齢	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	
乳牛	スモール	♀	9	165,000	8,800	62,822	
		♂	126	143,000	3,300	102,929	
		計	135	165,000	3,300	100,255	
	子牛	♀	2	146,300	139,700	143,000	
		♂	0				
		計	2	146,300	139,700	143,000	
F1	スモール	♀	2	550,000	506,000	528,000	
		♂	0				
		計	2	550,000	506,000	528,000	
	子牛	♀	97	257,400	45,100	161,768	
		♂	75	352,000	3,300	231,572	
		計	172	352,000	3,300	192,206	
黒毛和種	スモール	♀	2	476,300	419,100	447,700	
		♂	3	617,100	498,300	552,933	
		計	5	617,100	419,100	510,840	
	子牛	♀	4	496,100	432,300	471,075	
		♂	2	691,900	474,100	583,000	
		計	6	691,900	432,300	508,383	
	3歳以上	♀	1	49,500	49,500	49,500	
		♂	0				
		計	1	49,500	49,500	49,500	

肉用子牛生産者補給金発動状況

令和元年度第3四半期(2019年10～12月)

○肉用子牛生産者補給金制度

(単位：円／頭)

区 分	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種
保証基準価格	541,000	498,000	320,000	164,000	274,000
合理化目標価格	429,000	395,000	253,000	110,000	216,000
平均売買価格	759,900	630,800	294,100	240,300	419,600
補給金単価	—	—	25,900	—	—

令和2年2月市況

子豚市場

全農茨城県本部 子豚市場

開催日	区分	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)
5	一般子豚	15	22,110	22,110	22,110	50
	ベビー豚	220	22,330	19,030	21,282	35
19	一般子豚	15	22,000	22,000	22,000	50
	ベビー豚	284	23,650	19,470	21,991	35

牛市場

全農茨城県本部 家畜市場

開催日	畜種	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)	kg当たり単価(円)
14	和牛	♀ 去計	58	891,000	451,000	633,657	296	2,144
			1	699,600	699,600	699,600	306	2,318
			90	1,059,300	435,600	757,106	314	2,412
			149	1,059,300	435,600	708,666	306	2,318
	F1	♀ 去計	6	825,000	68,200	431,750	—	—
			0					

大子町畜産農業協同組合 大子家畜市場

開催日	畜種	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)	kg当たり単価(円)
	和牛	♀ 去計						

食肉地方卸売市場

株茨城県中央食肉公社

開催日			豚枝肉：日曜、祭日を除く毎日					牛枝肉：毎週月曜日、木曜日				
項目 畜種	上場頭数			卸売価格(枝肉1kg当たり単価・円)					屠畜頭数			
	頭数	平均重量(kg)		極上	上	中	並	外	平均	豚	牛	
豚	13,207.0		79.8	476	445	420	386	317	405	24,601	694.5	
牛	頭数		平均重量(kg)	5	4	3	2	1	平均単価(円)			
和牛	A	145	167	474.4	2,588	2,195	1,635	1,579	—	2,246		
	B	11			—	2,103	1,323	1,050	—			
	C	11			—	—	—	715	631			
乳牛	A	—	177	325.8	—	—	—	—	—	602		
	B	18			—	—	—	614	600			
	C	159			—	—	—	622	582			
交雑牛	A	24	91	508.2	1,866	1,735	1,635	—	—	1,534		
	B	53			—	1,731	1,517	1,343	—			
	C	14			864	—	1,384	964	581			

茨城県家畜商業協同組合 茨城県中央家畜市場

開催日			5, 9, 19, 25, 29			
畜種	年齢	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)
乳牛	スモール	♀	7	176,000	3,300	93,186
		♂	133	177,100	3,300	102,862
		去計	2	116,600	90,200	103,400
	子牛	♀	142	177,100	3,300	102,393
		♂	3	163,900	141,900	150,700
		去計	0			
F1	スモール	♀	1	16,500	16,500	16,500
		♂	4	163,900	16,500	117,150
		去計	58	234,300	3,300	173,667
	子牛	♀	71	303,600	5,500	225,392
		♂	0			
		去計	129	303,600	3,300	202,136
黒毛和種	スモール	♀	1	221,100	221,100	221,100
		♂	0			
		去計	1	221,100	221,100	221,100
	子牛	♀	0			
		♂	4	551,100	358,600	447,700
		去計	0			

牛マルキン発動状況

販売月	支払区分	肉専用種	交雑種	乳用種
令和元年12月	確定単価	—	—	63,042.3円
令和元年11月	確定単価	—	356.4円	53,726.4円
	概算払単価	—	—	49,726.4円
令和元年10月	確定単価	22,522.5円	15,271.2円	48,722.4円
	概算払単価	18,522.5円	11,271.2円	44,722.4円

(注)

四半期の最終月以外については、交付金を概算払いし、各四半期の最終月に確定単価で精算払いをしています。(配合飼料価格安定制度の見直しによる生産費用算出の関係によるもの。)

また、消費税抜きで算定されています。

◎算定基礎の詳しい情報は、(独)農畜産業振興機構HP (<http://www.alic.go.jp>) をご覧ください。

第19回茨城県堆肥コンクール表彰式及び土づくりセミナー開催される

(公社) 茨城県畜産協会

家畜排せつ物の適正な管理とその有効利用に努め、良質な堆肥の生産と利用を実践している畜産農家を顕彰するため、(公社) 茨城県畜産協会・茨城県堆肥利用促進協議会主催による第19回茨城県堆肥コンクールを開催し、令和2年1月17日、茨城県農業総合センターにおいて表彰式を行いました。

このコンクールは、平成13年度の第1回から数えて、今回で19回目を迎えました。

今年度は、大家畜部門(乳用牛・肉用牛)での開催、乳用牛10点、肉用牛11点の計21点の出品がありました。審査項目は、官能評価、成分評価、現地調査の3項目を設け、それぞれの項目ごとの判定基準に従い審査し、更に現地調査で確認した堆肥化施設の設置状況や環境への配慮、堆肥生産、保管、流通状況などを加味して総合的に判断し、最優秀賞1点、優秀賞1点、優良賞1点を選定しました。

審査委員長である根本茨城県畜産センター長より

最優秀賞の栗山元昌氏(肉用牛)の堆肥は、堆肥舎にて定期的な切り返しを行い約1年間かけて製造された堆肥で、官能検査では色相が良く、臭気が非常に少ないなど高い評価を得ました。また、成分評価では8つの調査項目中6項目で満点を取るなど最高得点を獲得し、総合的に最も高い評価となりました。

優秀賞の笠間瑞穂株式会社(乳用牛)の堆肥は、戻し堆肥を活用し、堆肥化期間は1～2週間の短期処理ですが十分に腐熟が進行してお

り、肥料三要素の窒素、リン酸、カリをバランスよく含む堆肥で、官能評価及び成分評価ともに高い評価となりました。

優秀賞の安達政弘氏(肉用牛)の堆肥は、適度な肥料成分を含み、成分評価において高く評価されました。と報告がありました。

なお、特別賞として栗山元昌氏に茨城県知事賞、笠間瑞穂株式会社には茨城県農林水産部長賞が授与されました。

表彰式のあとの土づくりセミナーでは、今回最優秀賞を受賞した栗山元昌氏による「良質堆肥の生産について」の事例紹介と茨城県畜産センター飯尾主任から「たい肥ナビ」の紹介があり、そのあと一般財団法人日本土壌協会専務理事猪股敏郎氏から「家畜ふん堆肥の効果的な使い方」についての講演がありました。

入 賞 者

最優秀賞

・栗山 元昌
(牛久市：肉用牛)

優秀賞

・笠間瑞穂株式会社
(笠間市：乳用牛)

優良賞

・安達 政弘
(笠間市：肉用牛)

特別賞

・茨城県知事賞 栗山 元昌
・茨城県農林水産部長賞 笠間瑞穂株式会社



いばらきの高品質豚肉

ローズポーク

茨城県銘柄豚振興会

事務局
〒311-3155 東茨城郡茨城町下土師1950
全国農業協同組合連合会 茨城県本部内
TEL / 029-292-8004
FAX / 029-292-7743

わたしたちは人と動物の
「これから」を真剣に考えています



森久保薬品株式会社 茨城事業部

下妻市亀崎4011-1 TEL/0296-43-1661

FAX/0296-43-6509 フリーアクセスFAX/0120-436-509

<http://www.morikubo.co.jp>

<http://www.haccp.jp>

公益社団法人 茨城県畜産協会

TEL/029(231)7501 FAX/029(222)2032

○当協会に対する意見・要望

Eメール info@ibaraki.lin.gr.jp

○本紙への掲載「催事・各種情報」

Eメール chikusan@ibachiku.com

○ホームページ

<http://ibaraki.lin.gr.jp>